『めぐろ学校教育プラン』改定素案　【概要版】

１　改定趣旨・位置付け（本編 p.1～p.2）

社会状況や教育を取り巻く環境の変化、多様化する教育課題に対応し、子どもたちが自ら学び、多様な他者と協働しながら、持続可能な社会の創り手として必要な力を身に付けることができる教育を推進するため、「めぐろ学校教育プラン」を改定します。

- ○ 教育委員会の教育目標・基本方針を学校教育において実現するための計画
- ○ 「目黒区基本計画」を上位計画とする学校教育分野の個別計画
- ○ 「目黒区教育に関する大綱」や関連計画との整合性を確保

２　計画の期間と進め方（本編 p.3）

- ○ 令和９（2027）年度から令和 13（2031）年度までの５か年の計画
- ○ 社会状況等の著しい変化を踏まえ、計画期間中も必要に応じて見直しを実施
- ○ 各施策の進捗状況を継続的に確認し、成果や課題を点検・評価

３　基礎調査・ワークショップの実施（本編 p.4～p.7）

○ 児童・生徒、保護者、教職員及び地域住民を対象に基礎調査を実施し、学校教育に対する意識やニーズを把握するとともに、学校教育プランの改定に向けた検討の基礎資料として活用

○ 基礎調査で把握した子どもたちの幅広い意見を踏まえ、区立小・中学校各１校においてワークショップを実施し、子どもたちとの直接の対話を通じて、アンケートでは捉えきれない経験や思い、願いを把握

○ ワークショップで寄せられた意見を、「自分のレベルや興味に合った内容・スピードを選べること」や「困ったときに正直に相談でき、最後まで話を聞いてくれる人がいること」など、子どもたちが考える「理想の 10 の姿」として整理

○ ワークショップの成果を尊重しつつ、基礎調査から把握した幅広い傾向と併せて、学校教育プランの検討に活用

４　めぐろ学校教育プランの目指す姿　目指す子ども像（本編 p.8～p.11）

学校・園の教育活動全体を通して、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を相互に関連し合いながら一体的にはぐくみ、子どもたちの「生きる力」を育成します。また、これからの時代に求められる資質・能力「MEGURO」を、これらの力と関連付けながらはぐくみ、目指す子ども像の実現につなげていきます。



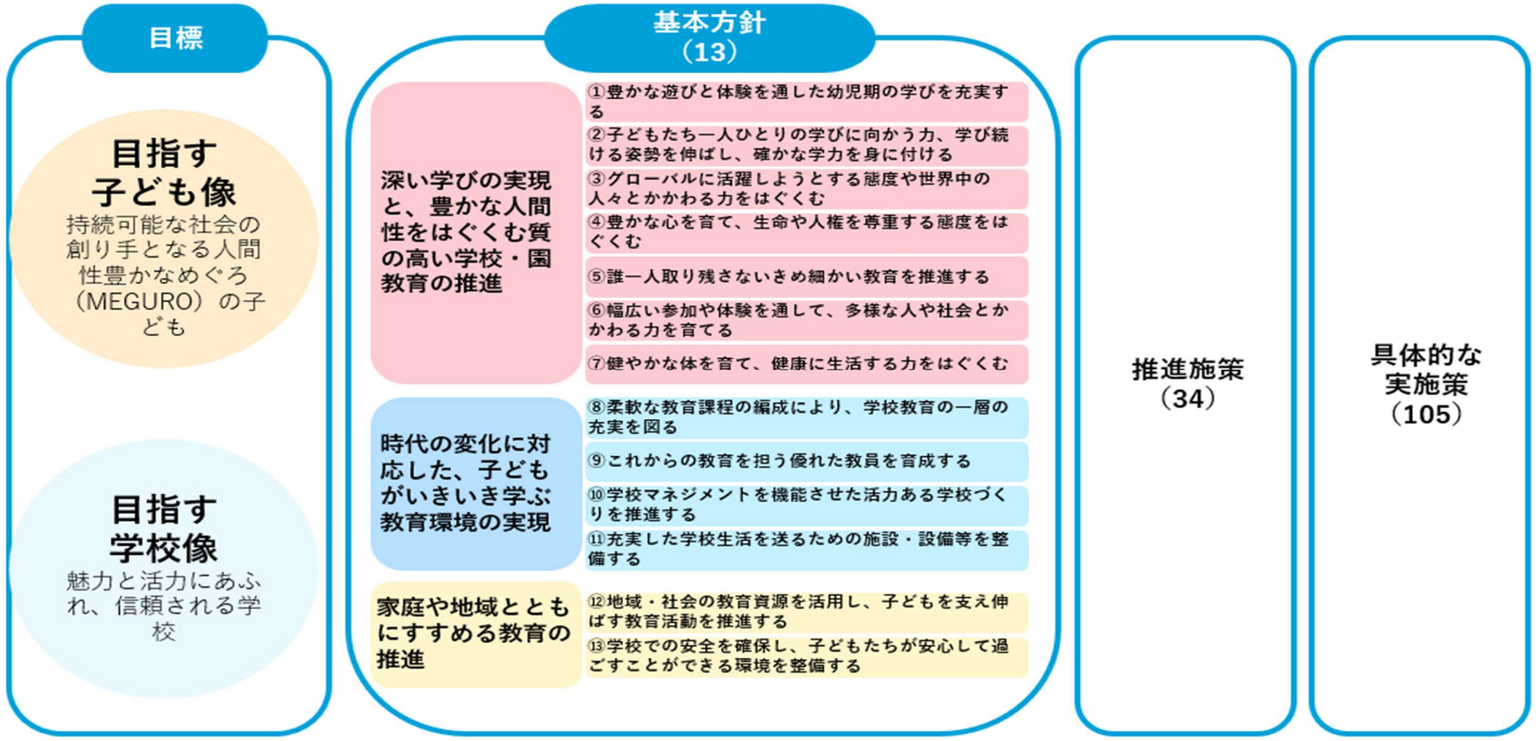
5　めぐろ学校教育プランの目指す姿 目指す学校像（本編 p.12）

障害の有無や文化的･言語的背景、家庭環境などにかかわらず、すべての子どもたちが安全･安心な教育環境のもとで学び、幸福や生きがいを感じられる学校を目指します。また、家庭や地域と連携･協働し、一人ひとりの子どもを社会全体で支えていきます。



6　目指す姿の実現に向けた施策体系（本編 p.13）

目指す子ども像及び目指す学校像の実現に向けて、資質･能力「MEGURO」の育成を図るとともに、施策の目的や役割を明確にするため、3 つの区分に整理した 13 の基本方針のもと、34 の推進施策と 105 の具体的な実施策を体系的に推進します。



※基本方針、推進施策、具体的な実施策の詳細は、 本編 p.14～63 に掲載

7　重点的に取り組む推進施策（本編 p.64～p.69）

基礎調査やワークショップで示された声、社会状況や教育課題の変化を踏まえ、子どもたちの学びの充実、一人ひとりに応じた支援、学校教育を支える環境づくり、家庭･地域との連携の観点から、今後5か年に特に優先的に取り組む 10 の推進施策を設定します。

深い学びの実現と、豊かな人間性をはぐくむ質の高い学校･園教育の推進

①幼稚園、こども園、保育園、小学校との円滑な接続
主な実施策：幼保小連携の充実

②デジタルや生成ＡＩを活用した学習の推進
主な実施策：情報活用能力の育成

③探究的な学びの推進
主な実施策：「自己選択学習の時間」の推進

④英語力の向上とコミュニケーション能力の育成
主な実施策：ＡＩ活用型英語学習アプリケーションの活用

⑤不登校児童・生徒への支援充実
主な実施策：校内教育支援センター（校内別室指導）機能の整備・充実

⑥異学年や異校種、多様な人々との関わりを通した体験活動の推進
主な実施策：小・中学校の連携・交流

時代の変化に対応した、子どもがいきいき学ぶ教育環境の実現

⑦柔軟な教育課程の編成による教育の質の向上
主な実施策：柔軟な教育課程の編成・実施

⑧学校における働き方改革等の推進
主な実施策：目黒区立学校・園における働き方改革実行プログラムの推進

家庭や地域とともにすすめる教育の推進

⑨学校・家庭・地域で子どもたちの成長を支える体制の整備
主な実施策：学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進

⑩持続可能な部活動の推進
主な実施策：部活動の地域展開等の推進